

祝 辞

本日、ここに学位を取得し卒業をされた163名の方々、大学院・教養講座を修了された41名の皆様、誠におめでとうございます。晴れてこの日を迎えられたことを、鷹陵同窓会を代表して心よりお祝いを申し上げます。卒業・修了を迎えられる迄の長い間、皆様の学業と研究活動を支えてこられた学長先生ならびに諸先生方のご功勞に対し、改めて敬意を表したいと思います。

卒業を迎えられた皆さんの一人ひとりの胸の中には、様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。入学を志した日から今日まで、多くの喜びや苦しみなど、心穏やかでない日々も多かった事とお察しいたします。

昨年来より、全世界を巻き込んだ感染症が猛威を振るい、未だ収束の糸口さえ見いだせない状況で、経済や社会が大きく影響を受け、私達を取り巻く環境も大きく変わらざるを得なくなりました。

価値観・倫理観さえ揺さぶられ、混迷の度を深めつつある中、それを乗り越えての卒業には感慨もひとしおの事と思います。

このような時代を生きるからこそ、佛教大学の卒業生としての更なる自覚を持ち、それぞれの場で学んだ事を生かし、活躍される事を希望いたします。

私達が学んだ佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであります。

本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると同時に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆となります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和31年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在、2万人以上の同窓会員を擁し、地域を跨いで活動も活発に行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲になってしまいます。自分自身、先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じています。これからも助け合いながら人生を歩んでいく大切な人間関係となります。

卒業・修了された皆様方には、是非とも鷹陵同窓会に入会して頂き、在学生との橋渡し役として、今後とも御縁をいただければ幸いです。

最後になりましたが、私どもが学んだ佛教大学の益々のご発展を願って、お祝いの言葉といたします。

令和3年3月25日 佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美